

グランドパーテーション®シリーズ

# Fencewall Flat

フェンスウォール® フラット

## 取扱説明書

1. 輸送・保管時の注意事項
2. 施工方法
3. 施工図
  - 土圧が掛からない場合（柵板仕様）
    - 1 スパン = 2メートルの場合
    - 1 スパン = 1メートルの場合
  - 土留めとして使用する場合（土圧板仕様）
    - 1 スパン = 2メートルの場合
    - 1 スパン = 1メートルの場合
4. 組立図・根固めコンクリート寸法表
5. 土留め施工について
5. 注意事項
6. 製品について

# 1. 輸送・保管時の注意事項



【図1 良い例】



図2 悪い例  
(角材が無い場合でも割れます)

- ① 柵板・土圧板の輸送・保管の際は必ず **立てた状態** (※図1) にして下さい。
- ② カド欠け防止の為、図の様に角材を入れる。
- ③ 輸送時、図1の状態のまま動かないよう、ロープ等でトラックの荷台に固定する。
- ④ 保管時、図1の状態のまま倒れないよう、ロープで巻く等の措置をとる。

# 2. 施工方法

施工手順は以下の通りにおこなってください



### 3. 施工図

#### 土圧が掛からない場合

##### 柵板仕様 1 スパン= 2メートルの場合



##### 柵板仕様 1 スパン= 1メートルの場合



- ※ 柱と柵板の空隙は 7.5mm
- ※ 柵板と柵板の目地は 5mm
- ※ 2メートルスパンの施工をする時は柵板の入る箇所の長さは 1895mm
- ※ 1メートルスパンの施工をする時は柵板の入る箇所の長さは 895mm
- ※ それ以外のスパンを施工する時は  
柵板が入る箇所の長さ - 15mm に柵板をカットして下さい。
- ※ 土留めとして施工する場合は土圧板を使用して下さい。

#### 土留めとして使用する場合

##### 土圧板仕様 1 スパン= 2メートルの場合

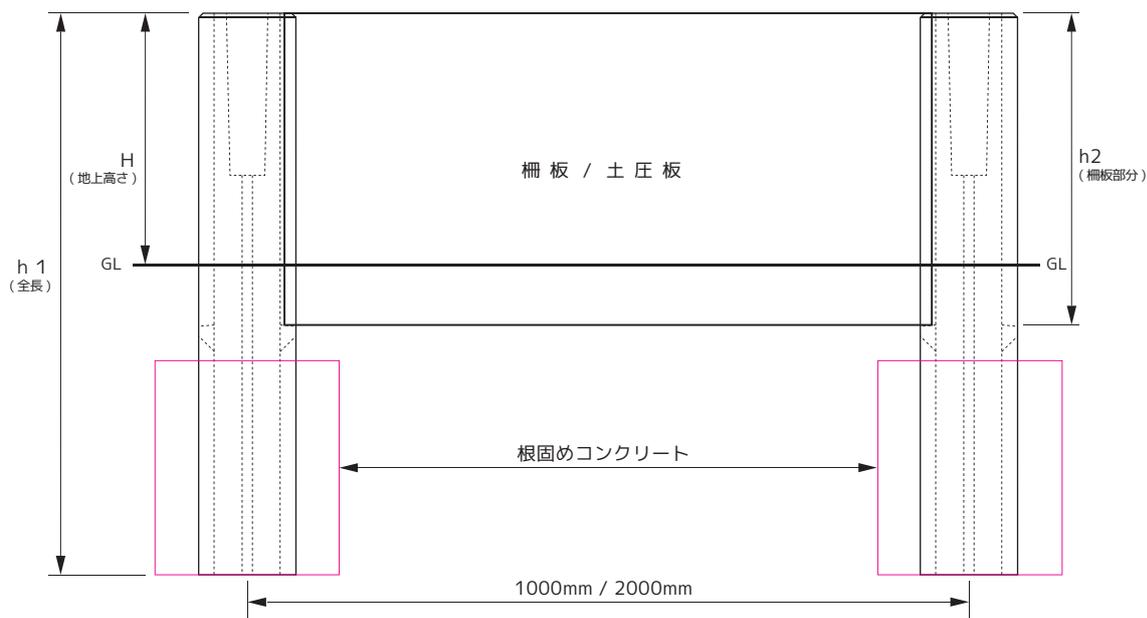


##### 土圧板仕様 1 スパン= 1メートルの場合



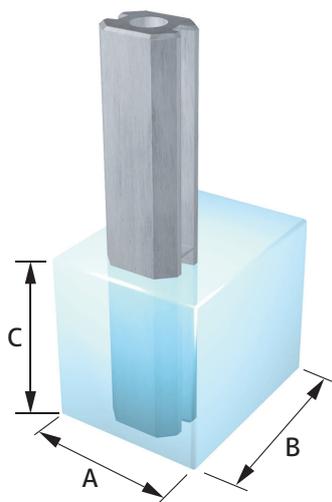
- ※ 柱と柵板の空隙は 7.5mm
- ※ 柵板と柵板の目地は 5mm
- ※ 2メートルスパンの施工をする時は柵板の入る箇所の長さは 1895mm
- ※ 1メートルスパンの施工をする時は柵板の入る箇所の長さは 895mm
- ※ それ以外のスパンを施工する時は  
柵板が入る箇所の長さ - 15mm に柵板をカットして下さい。
- ※ 土留めとして施工する場合は土圧板を使用して下さい。

## 4. 組立図・根固めコンクリート寸法表



↑ 組立図寸法表 (単位 mm)

|    | H(地上高さ) | h1 (全長) | h2 (柵板部分) | 柵板組み合わせ |
|----|---------|---------|-----------|---------|
| 1番 | ~300    | 800     | 400       | H400×1  |
| 2番 | ~700    | 1200    | 805       | H400×2  |
| 3番 | ~1100   | 1600    | 1210      | H400×3  |



← 根固めコンクリート寸法表 (単位 mm)

| 全高 (地上高) | A   | B   | C   |
|----------|-----|-----|-----|
| ~1500    | 260 | 400 | 350 |
| ~2000    | 310 | 400 | 350 |

※ 全高とは上部に設置するフェンスを含めた高さです。

## 5. 土留め施工について

- ① 土留めとして施工する場合は  
**土圧板**を使用して下さい。
- ② より強固な土留めにする場合は  
1 スパンを1メートルにして下さい。
- ③ 盛土側は右図の通り、土圧板の凸側です。

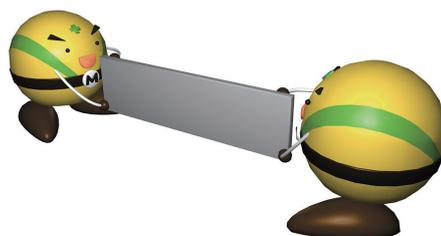
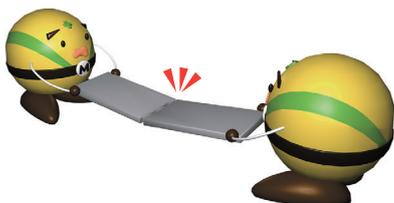


## 6. 注意事項

- ① 運搬・仮置きの際、**横置きは厳禁**です。  
最後の一枚まで必ず**立てた状態**にして下さい。



- ② 持って移動する際、**横持ちはしない**で下さい。  
必ず**立てた状態**で運んで下さい。



- ③ 施工直後に**過度な転圧はしない**で下さい。  
土留めとして施工した場合、柱や柵板周辺に対してランマやプレートなど転圧機は使用しないで下さい。
- ④ 汚れた手袋での製品の取り扱いはしないで下さい。  
製品にさわるときは必ず綺麗な手袋に取り替えてから作業して下さい。
- ⑤ 製品に汚れが付いた場合は水洗いして下さい。又、それでも落ちない場合コンクリート専用の洗浄剤を使用して下さい。(当社に在庫あり)
- ⑥ フェンス支柱穴にフェンス柱を固定する時、通常はモルタルを使用します、急結材などの混和剤を使用する場合はご注意下さい。  
膨張してフェンスウォール自体が破損する場合があります。

## 7. 製品について

フェンスウォール用柵板・土圧板にて横方向に走るクラック(右図赤部分)が発生している製品がありますが、製造過程において出来てしまう沈下クラックです。  
製品不良ではありませんのでご了承下さい。

